

中学生世代の新たな地域クラブ活動準備・推進計画

(答志中学校区部分抜粋)

2024 年 3 月

鳥羽市教育委員会

④ 離島の活動

□答志中学校区について

a. 意向調査結果の概要と活動状況

●児童・生徒の意向と学校区内の活動状況

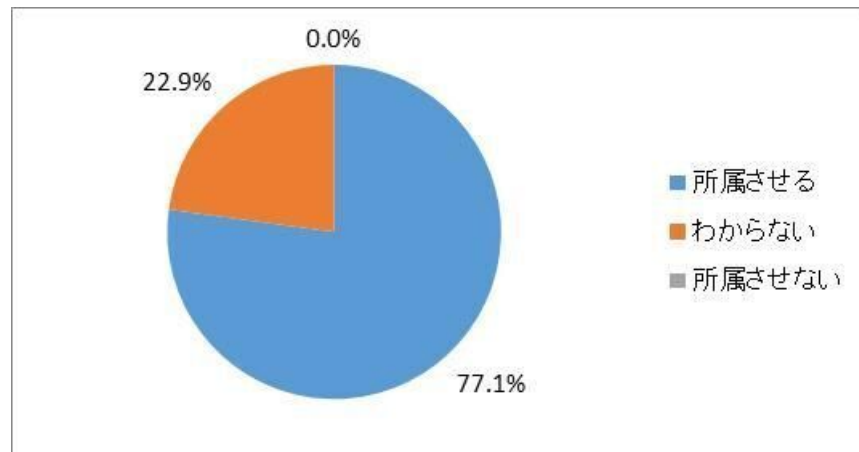
・「あればやってみたい活動は何ですか」（複数回答可）

	小学生	中学生	合計	活動状況
バドミントン	14	3	17	部活動
野球	7	3	10	部活動、スポ少、任意団体
卓球	6	3	9	
サッカー	3	3	6	
バスケットボール	1	4	5	
ソフトボール	3	1	4	部活動
剣道	3	1	4	スポ少
ダンス	2	2	4	
陸上競技	1	2	3	
テニス	2		2	
バレーボール	1	1	2	
ソフトテニス		2	2	
体力づくり		1	1	
硬式テニス		1	1	

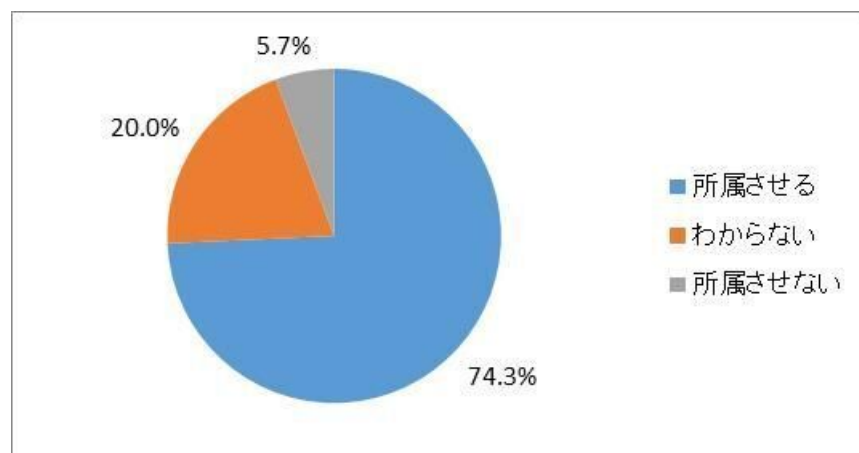
※答志島スポーツ・文化クラブは、ソフトボール・剣道・ヨガ等を実施

●小中学生保護者の意向

- ・「休日部活動が地域クラブに移行した場合、お子様が希望したら所属させますか」

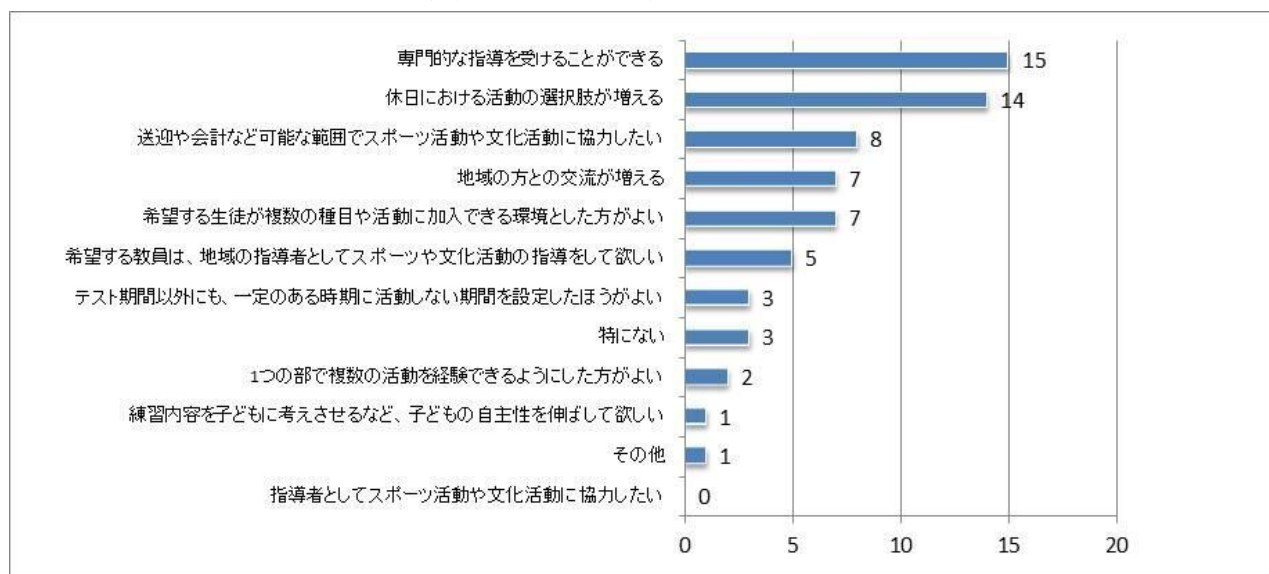


- ・「地域クラブが他校と合同地区の場合、お子様が希望したら所属させますか」

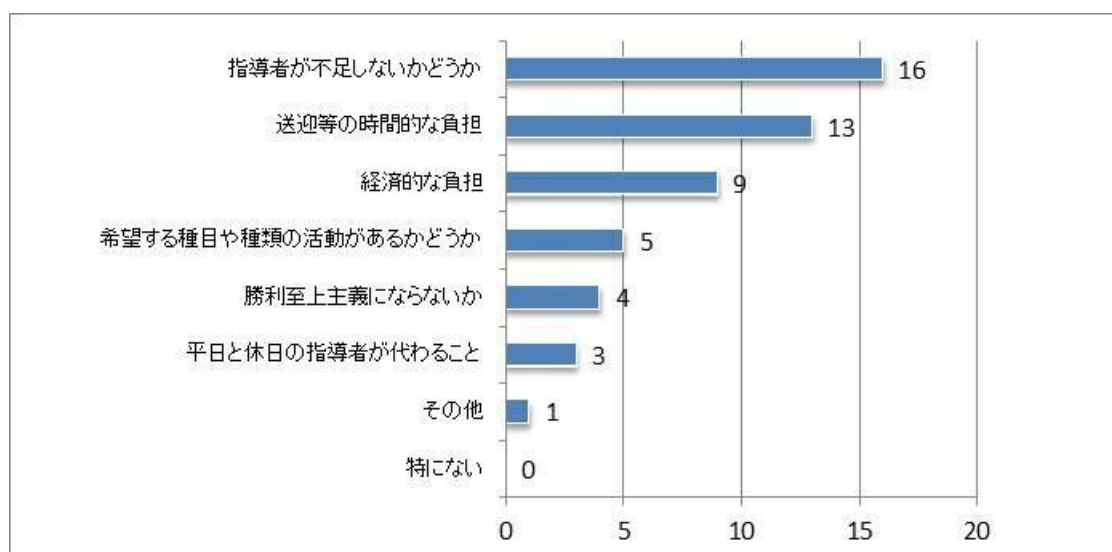


平日の放課後や夜間に島外で実施している活動には実質参加できないため、他校と合同地区となった場合の保護者の所属意向が少し減少していますが、休日には現在も他地区とともに活動している団体があることから、大きな減少幅とはなっていないものと思われます。

・「休日部活動の地域移行について、あなたの考えに近いものを選んでください。」



・「休日部活動の地域移行について、あなたが不安に思うこと等を選んでください。」



答志中学校区における回答については、「専門的な指導が期待できる」という期待が全体の回答同様多くなっています。また、「休日における活動の選択肢が増える」が次点となっており、この回答の割合が全体の回答の割合よりも高くなっていることが特徴となっています。現在の学校部活動の選択肢が少ないため、平日の活動競技とは別に、休日には子どもが希望する競技を体験させたい意向が働いていると考えられます。

不安な点については、全体の回答で最も不安視されている「送迎等の時間的な負担」が答志中学校区では2番目となっており、「指導者が不足しないかどうか」のほうが上位にきています。現在も休日には他地区とともに活動している団体が

あることから、送迎時間がかかることに対して、すでに一定程度ご理解をいただいた上で回答をいただいたものと思われます。

逆に、「経済的な負担」を不安視する声は全体より高くなっており、休日に地域クラブ活動に参加する費用等の条件に関しては、鳥羽市全体で公平感が生まれるよう調整する必要があります。

b. R6 に予定している地域での打ち合わせの骨子案

組織・人材、競技種目の観点からは、少年団や地域スポーツクラブ等が複数活動しており、人材の調整がつけば、現在の部活動＋ α の競技が実施可能な状況であるといえます。

また、子どもの選択肢及び少子化の観点からは下表のような整理となり、これらを踏まえて、どのような体制づくりをしていくべきか、意見交換し調整していくこととなります。

曜日と内容		やりたい競技が島内にある	やりたい競技が島内にない
平日		・学校部活動に所属 ・島内の団体に所属	・学校部活動に所属 ・島内の他競技団体に所属 ・いずれにも所属しない
休日	練習	・島内の団体に所属 (人員不足→本土と連携)	・島内の他競技活動に所属 ・本土の団体に所属
	試合	・島内の団体で出場 (人員不足→本土と連携)	・島内の他競技で出場 ・本土の団体で出場